

シラバス（様式）

授業科目名： 国際経済政策論			担当教員名： 鎌田 伊佐生
選択必修： 選択	単位数： 2	セメスター： 前	開講言語： 日本語
<p>○授業の到達目標及びテーマ</p> <p>国際分業と貿易のパターン、貿易の利益と貿易が国内経済に及ぼす影響等への理解を踏まえつつ、貿易政策とその意義や効果などを中心に国際貿易と貿易政策に関する諸現象や諸問題について経済学的に理解するとともに、それらについて分析するための理論的基盤を身につけることを目標とする。</p>			
<p>○授業の概要</p> <p>本授業は、国際貿易や貿易政策ならびに関連するグローバル経済の諸問題を理解し分析するための経済学の理論的基盤の修得を目的とした授業である。授業では主に、伝統的なモノの貿易に関する諸理論・トピックを扱い、完全競争下での比較優位に基づく貿易理論と産業間貿易や不完全競争と規模の経済に基づく貿易理論と産業内貿易を中心に解説した後、輸入関税や輸出補助金等の貿易政策に関する主要な理論とそれを用いた政策効果分析、ならびに WTO 体制における貿易の多国間ルールとその意義について解説する。</p> <p>○授業の方法</p> <p>日本語による講義を中心に進める。受講生は事前に指定した教材（テキスト）の該当箇所や参考文献を読み準備したうえで毎回の授業に臨むこと。また、授業は受講生が学部中級レベル以上のミクロ経済学の知識・理解を有していることを前提に進めるが、基礎的な国際経済学に関する知識があればなお望ましい。</p> <p>なお、<u>受講を希望する者は必ず第1回授業の前日までに担当教員と連絡をとること。</u></p>			
<p>○授業計画</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 インTRODクション、国際貿易概観 2 国際貿易の基礎と貿易の利益（1）：部分均衡アプローチ、一般均衡モデルの構成要素 3 国際貿易の基礎と貿易の利益（2）：一般均衡アプローチ 4 生産技術と国際貿易：リカードの貿易理論 5 国際貿易と分配：特殊要素の貿易理論 6 生産要素と国際貿易：ヘクシャー＝オリーンの貿易理論 7 経済成長と貿易パターン：比較優位モデルによる分析 8 貿易理論の検証：比較優位モデルの実証研究 9 規模の経済性と不完全競争（1）：独占的競争の貿易モデルを中心に 10 規模の経済性と不完全競争（2）：製品差別化と産業内貿易にともなう貿易の利益 11 貿易政策の効果と影響（1）：関税 12 貿易政策の効果と影響（2）：数量制限、非関税障壁、補助金政策 13 貿易政策の効果と影響・応用編：不完全競争下の貿易政策、戦略的貿易政策 			

14 国際貿易システム：GATT/WTO 体制と貿易のルール

15 まとめと展望

○テキスト

阿部顕三・遠藤正寛『国際経済学』有斐閣、2012年
若杉隆平『国際経済学（第3版）』岩波書店、2009年
その他、各回の授業に際し必要な文献や資料を指示する。

○参考書・参考資料等

木村福成『国際経済学入門』日本評論社、2000年
J. R. マークセン他『国際貿易—理論と実証—』（上）・（下）、多賀出版、1999年
その他、各テーマの参考となる文献や資料を適宜指示する。

○学生に対する評価

以下の必須課題における成績に基づいて授業成績を評価する：

宿題（演習問題等、学期中に複数回出題）

定期試験（期末試験）

レポート（タームペーパー）

○警戒レベル3以上の場合の授業形態について

授業形態：オンライン授業（リアルタイム配信型）

資料・連絡事項掲載場所：Web Class